

## 企業の信頼性確保と業務効率の向上を支援する 文書管理基盤「uCosminexus DocumentBroker」

企業の透明性を維持するためには、株主やお客さま、従業員、監督官庁など、さまざまなステークホルダーに企業活動を速やかに説明することが必要です。そのため、膨大な情報データをセキュアかつ効率的に管理することが重要な要件となります。日立の文書管理基盤「ユーコスミンネクサス uCosminexus DocumentBroker ドキュメントブローカー」は、コンプライアンス、セキュリティ、セーフティ、スケーラビリティをキーに、企業活動の基盤となる膨大な業務文書の管理を強力にサポート。導入しやすく、使いやすい文書管理環境で、企業の信頼性確保と業務効率向上に貢献します。

◎ 業務文書をファイルサーバに保管していますが、すぐに業務文書を取り出せません。何かよい方法はありませんか。

Ⓐ 文書をファイルサーバに格納するだけでは、本当の意味での「文書管理」とは言えません。いま企業経営に求められている「文書管理」とは、説明責任(アカウントビリティ)を果たすため、業務遂行の結果としての文書を記録としてセキュアに維持・保管し、経営効率を向上させるため迅速・有効に活用できるものでなければなりません。現在の企業経営はさまざまな課題に直面しています。例えば、競争力の強化、コスト削減、コンプライアンスへの対応 -- これらの経営課題を解決するための重要な手段の1つが、適切な文書管理なのです。

そのためにも早急に着手したいのが、社内の文書管理の「ルールづくり」です。文書ファイルをファイルサーバに入れるだけというあいまいな管理・運用方法では、いずれ「同じ名称の文書が多すぎて目的の文書が見つからない」「だれが担当した文書なのかわからない」「承認された正しい文書かどうか判断できない」「情報漏えいや改ざんされていないことの証明ができない」といったトラブルを招きかねません。これは業務効率の低下だけでなく、内部統制上の問題として、企業価値を左右するトラブルにもつながる可能性があります。

重要なのは、業務文書を全社規模で一元管理し、ルールにのっ

とって長期にわたり安全に保管し、効率よく活用できる環境を実現すること。そして業務活動の証拠を残し、企業責任をより高いレベルで果たす文書管理の仕組みを、いち早く構築することにあるのです。

◎ 統制の取れた文書管理を実現するには、どのようにシステムを考えればよいのでしょうか。

Ⓐ 企業文書を適切に管理するには、社内における明確なルールづくりが不可欠です。そして何より先重要なのは、日々増え続ける文書を業務効率の向上や企業価値の最大化につなげるため、現場ですぐに使いこなせるシステムを、いち早く導入することです。文書管理規定などを見ながら文書を登録・参照するような、煩雑な行為であればせっかく決めたルールも台無しです。ITを利用する場合、画面に従い作業をするといった、ルールに基づいた管理ができるのが理想的です。

文書管理基盤 uCosminexus DocumentBrokerは、膨らみ続ける企業文書の分散化や管理の煩雑さを解消するため、日立が長年培ったノウハウを使いやすくパッケージ化したもので、部門レベルから迅速に文書管理がスタートできるのが特長です。

操作画面はWebブラウザ上に、ふだん使い慣れたフォルダツリーが表示され、だれでも直感的な操作で文書の登録や検索

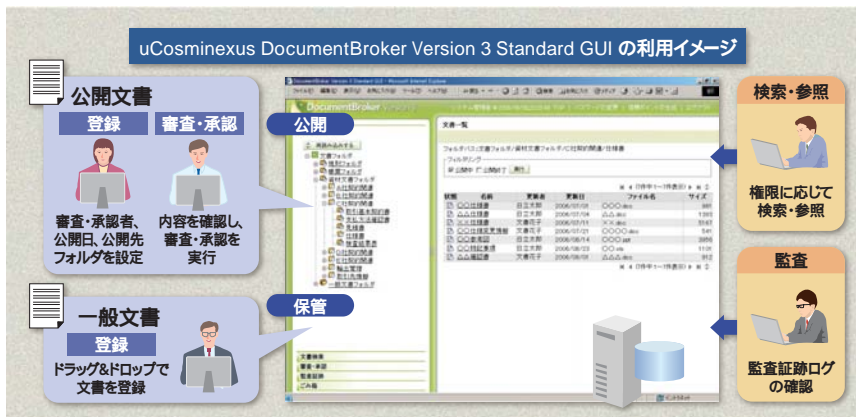


図1 利用イメージ

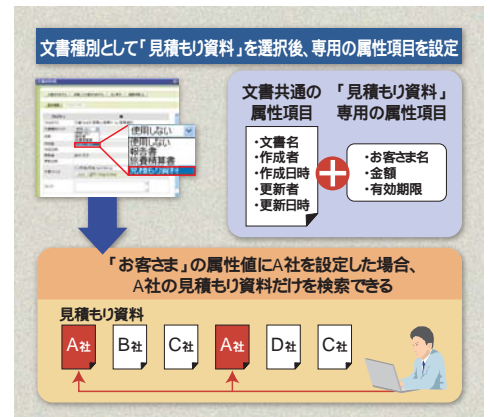


図2 属性項目を設定

などを実行することができます。見積書、稟議書、旅費精算書といった文書の種類や用途に応じ、独自の属性項目をGUIで容易に設定・管理することが可能です(図1)。文書を登録する際には、必要な属性やルールを自然な流れで設定できるため、特別な導入教育を行ったり、情報システム部門などの手を煩わせる心配もありません。属性項目をもとにした文書検索もスピーディに行えるため、過去文書の再利用や監査要求などにも迅速に対応できます(図2)。

企業で扱う重要な文書を保管・保存するには、情報漏えいや改ざん防止を図るセキュリティの考慮が必要です。

uCosminexus DocumentBrokerは、文書やフォルダ単位で利用権限を柔軟に設定できるアクセス権限により、不正アクセスや不正利用を強固にシャットアウト。文書参照用のURLを生成する機能を利用すれば、メールにファイルを添付することなく文書を参照できるため、情報漏えい対策も可能です。

詳細なアクセスログの取得によって監査証拠ログも出せるため、内部統制とコンプライアンスを支える先進の文書管理システムを、スピーディかつ容易に実現していただけます。

**Q** uCosminexus DocumentBrokerを部門レベルで導入した結果、情報共有や業務効率に成果が出てきました。今後、全社レベルで展開するには、どうしたらよいのでしょうか。

**A** 柔軟なスケーラビリティもuCosminexus DocumentBroker

の大きな特長です。スモールスタートで効果が確認できたら、その後はユーザー数や文書量の拡大に合わせて、段階的な拡張が図れます。具体的には、運用期間の長期化やユーザー

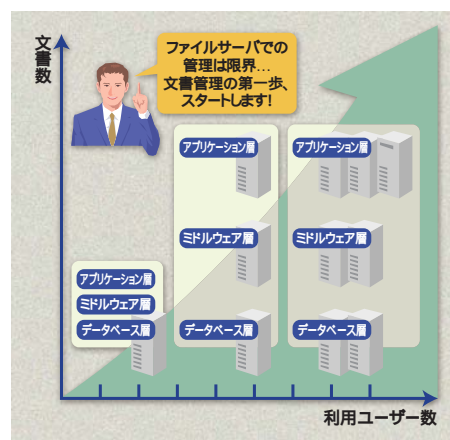


図3 柔軟なスケーラビリティ

数の増加に対し、データベース層、ミドルウェア層、アプリケーション層など、必要な部分のサーバを段階的に増設することで、文書量やトランザクションの増大に最適なコストできめ細かく対応することが可能です(図3)。複数サーバ間での負荷分散や、クラスタ構成によるシステムの二重化にも対応しているため、障害発生時の縮退運転や、システム稼働中のバックアップなど、24時間365日のミッションクリティカルな稼働環境を実現。グローバルビジネスの拡大により、企業の説明責任にも一瞬たりとも停滞が許されなくなった今、uCosminexus DocumentBrokerは企業活動の生命線ともいえる文書データを高信頼・ノンストップに守り続けます。

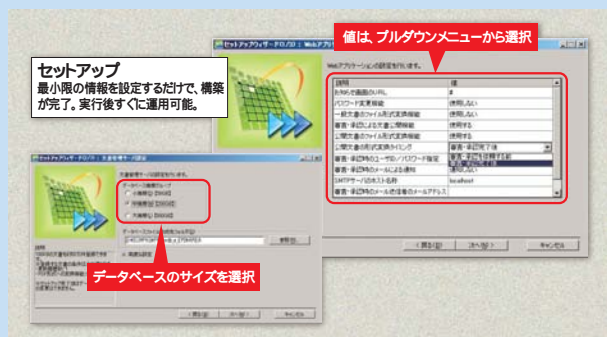
## 手軽に文書管理環境を実現できるオールインワンパッケージ

一括インストール、セットアップの機能を搭載したオールインワンパッケージを提供しています。複雑なシステム設計は不要で、日々の運用・管理を実行するツールも備えており、専門知識がなくてもシステムの構築・運用が実行できます。一般的な文書管理と事務規定文書管理の2製品をご用意しています。

### 標準文書管理パッケージ

DocumentBroker Version 3  
スマートドキュメント マネージメント  
Smart Document Management

文書の登録・参照はもちろん、移動やコピー、審査・承認、検索など、文書の管理・利用に必要な機能をすべてWeb画面上のGUIから行えます。必要なプログラムのインストールからセッ



標準文書管理パッケージ画面例

トアップまでを、専用のウィザードで実行できます。セットアップを行う場合は、データベースのサイズを選び、11項目の設定の値を選択することで文書管理画面が作成できるので、文書管理画面作成の負担を軽減することができます。

### 規定文書作成・閲覧パッケージ

DocumentBroker Version 3  
事務規定 Document Management

事務規定に関するドキュメント類を一元管理するパッケージで、どの部署や支店からでも最新版の事務規定にアクセスできる環境を構築できます。従来なら「最新版」に差し替えるために必要だったコストや労力が不要となり、常にすべてのユーザーが最新の規定を使用できるようになります。また、ユーザーの操作は監査証拠ログとして記録できるので、監査の際にも便利です。

### お問い合わせ先

HMCC(日立オープンミドルウェア問い合わせセンター)  
☎ 0120-55-0504  
利用時間 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

情報提供サイト  
<http://www.hitachi.co.jp/soft/docbro/>